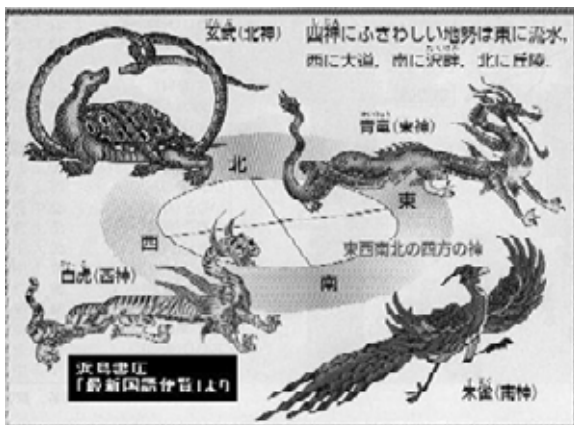


1年生オリエンテーション特別号

1年生の皆さん、ようこそ「天空の図書館」へ！いよいよ高校生活がスタートしました。緊張していませんか？ここ、「天空の図書館」は5階にあって教室からはすこし遠いのですが、運動もかねて是非上がってきて下さい。癒しの空間があなたを待っています。さて、このプリントは本校の図書委員会が毎月発行する「図書館だより」です。「PANDORA」という名前は、ギリシャ神話からきており、全知全能の神ゼウスが創った人類最初の女性の名前です。神話によると、ゼウスはそのパンドラに「あらゆる悪・禍」を詰めた箱を渡したそうです。好奇心旺盛なパンドラは箱の中身が知りたくてその箱の蓋をあけてしまいます。その瞬間に中に詰まっていた「悪・禍」が外に出て、この世界に「悪」や「禍」が広がったということです。しかし、急いで蓋を閉めたので、中に「希望」だけが残りました。それからは「パンドラの箱」というと「不幸」とか「希望」の象徴として語られるようになったのです。

図書館探検をすればわかりますが、この部屋には「本」がたくさんあります。その「本」はあなたたちの知的な「好奇心」を満たしてくれるものです。また、未来への「希望」の光を見いだすヒントを与えてくれるものです。その意味で図書館だよりを「PANDORA」という名前にしました。ぜひ愛読してください！

★ところで皆さんご存知？「奈良商工」が建つ、この地は？ ちょっとカッコイイかも・・・！



皆さんもご存知のように私たちが住む「奈良」は大昔「平城京」という都でした。2010年は「平城遷都1300年祭」が行われ、平城宮跡では「大極殿」が復元されました。その平城宮の南門「朱雀門」(1998年復元)から真南に走り、都を西側の右京と東側の左京とに分けるメインストリート「朱雀大路」といいます。現在、平城宮跡を縦断し朱雀門の傍を通る本校正門までの道路がありますが、その道路の西側(本校の西通用門を出た辺りは大路の一部だった)を終点の羅城門(大和郡山市観音寺町付近)まで平行して走っていました。さてその「朱雀」ですが、正体は都の四方



を護る「四神」の一つ「南の守護神」なのです。中国の陰陽道では、地形をそれぞれの守護神に見立てて都を定めたそうです。平城京では北の「平城山」が「玄武(げんぶ)」、西の「難波への道」が「白虎(びやっこ)」、南の「五徳池」(奈良市北之庄)が「朱雀」とされているようです。(東の「青龍(せいりゅう)」は人工的に「流れる水」=水路を作ったそうです。)つまり、私たちは「平城京の南の守護神」の名前を冠した学校の流れを汲んでいます。知っていましたか？

こんな昔のことがわかる地図が図書館にあります。『奈良時代MAP』(平城京編)です。あなたの家のあたりは、奈良時代には何があったのか調べてみるのも面白いかも！？朱雀画像は上段が www.asahi-net.or.jp・下段が kawagoeuranaikan.com より



朱雀

☆図書館について☆

1. 本校の図書館は・・・

図書系の先生と司書、各HRから選出された図書委員によって運営されています。

図書館には、蔵書約1万7千冊、雑誌（機械技術、機械設計、日経トレンディ、日経ビジネス、月刊激流、日経Linux、I/Oアワー、建築知識）毎日新聞・奈良新聞などがあります。

2. 開館について

開館日・・・月曜日～金曜日

開館時間・・・9:00～16:50

夏休みなどの長期休業中については事前に開館をお知らせします。

3. 利用方法について

貸出冊数・・・一人五冊まで

貸出期間・・・二週間

借り方は簡単！カウンターに本を持って行くだけ。返却は図書館に来るか、本館1Fの昇降口にある「返却ボックス」に！



天空の図書館

☆図書の先生の紹介☆

田野大介先生／藤本和樹先生

伊藤彰彦先生／吉竹裕章先生

手島明淑司書

4. 守ってほしいこと

- *本を大切に扱い、棚の本の並びを故意に乱さないこと。
- *返却日は厳守！
- *飲食物持ち込み禁止。
- *ケータイ・スマホは使用禁止
- *図書館はたくさんの人が利用します。他人に迷惑をかけること。

借りる時は自分の年・組・出席番号・名前をハッキリ教えてください。

☆本について☆

●本の配列●

本は、請求記号（ラベルの番号）順に、本棚の左から右、上から下に並んでいます。

*事典類、大型本・文庫本などは別置しています。

●請求記号とは？●

請求記号とは本を分類するための大切な記号です。

2～3段で構成されています。

1段目・・・分類記号

2段目・・・著者記号

3段目・・・巻冊記号

図書館の本にはすべてこのラベルが貼ってあり、分類記号（1段目の番号）順に本は並んでいます。

●本の探し方●

①蔵書検索用パソコンやタブレット等で探す

- ↓
- ・検索説明書に従って検索画面を立ち上げる

「書名で探す」
「著者名で探す」
→請求記号を見て、本棚に行く

②本の内容（ジャンル）で探す

- 分類番号から本棚に行く
- *例えば「星座」は443、
「スポーツ」は780

③見つからないとき、わからないとき

- カウンター当番（図書委員）、
図書系の先生、司書に聞く



有川浩
『植物図鑑』



北村史郎
『原色日本
植物図鑑(上)』

- (1) みんなで読む（全生徒・全教職員）
- (2) 毎日読む。
- (3) 好きな本を読む。
- (4) ただ読むだけ。

生徒の声より（昨年度3年生のMSR記述式アンケートから）

- ・本を毎日少しずつ読むことによって集中力がアップしていき、勉強の方も集中して取り組むことができるようになってきている。それに少しずつ読むことによって読み終えた時の達成感が得られるし、読むことが楽しくなった。
- ・本を読んでいて「また違う本を読みたい！」っていうワクワク感を感じるようになった。本に興味を持ち、知らない漢字も読めるようになった。
- ・家であまり本を読まないの、MSRがあることで本をよむようになった。
- ・少ない時間で本を読むことによって、いつもより集中できて読解力も高まり、内容も頭に入ってきやすくなった。
- ・漢字がおぼえられた。落ち着いた。前向きになった。集中力がついた。
- ・毎日継続していくため読書習慣が徐々に身についた。漢字が読めたり心が落ち着いたりした。さらに心の変化がわかる。
- ・本を読んで文章を論理的に理解できるようになった。読むのが楽しい時間だった。
- ・朝、静かに本を読むことにより、1日の授業に集中でき、また、テスト期間にはテスト勉強に集中できるようになった。
- ・本を読むことは想像力や文章力がつくと思うし、自分で読んでいて楽しかった。
- ・家でいそがしい分、学校でゆっくり本が読めたし、本の読むスピードが上がった。
- ・今まで読めていなかった本を読み切ることができた。10分という短い時間だけでも集中することができたし、新しい物語や小説を読めた。
- ・落ち着ける。本に興味湧く。ちょっとした知識や難しい漢字も読めるようになった。
- ・普段あまり本を読まなかったがMSRで読んだ続きが気になって、MSR以外の休憩時間も本を読むようになった。
- ・ふだん読むことのない本を読むことによって、本の面白さを知ることができた。

